

RoboCup Junior

Japan Open 2022 KEIHANNA



Soccer



Rescue



OnStage



ロボカップジュニア ジャパンオープン2022 けいはんな

会場: けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)

レスキューシミュレーション会場: 尼崎商工会議所 6階

主催 一般社団法人 ロボカップジュニア・ジャパン

共催 京都府

運営団体 ロボカップジュニア・ジャパン オープン2022 けいはんな大会実行委員会

後援 一般社団法人 人工知能学会 / 一般社団法人 日本ロボット学会 /

一般社団法人 京都府情報産業協会 / 京都コンピューターシステム事業協同組合



2022 4/22・24
FRI SUN

22日(金)は調整のみで競技はありません

選手・関係者のみ完全事前登録制

協賛

Platinum sponsor

kcg.edu

京都コンピュータ学院
京都情報大学院大学

Gold sponsor

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

Silver sponsors



日本電機標準

Bronze sponsors

Vstone
ワイズストーン株式会社

iRoobo
Network

maxon

RoboCup Junior

Japan Open 2022 KEIHANNA



自分の手でロボットとプログラムを作り 共に学ぶ、それがロボカップジュニア。

ロボカップは、「2050年までにサッカーワールドカップのチャンピオンに勝てるロボットのチームを作る」ことを目標にする国際的な人工知能・ロボット工学の研究プロジェクト。さまざまな分野の研究者が夢の実現に取り組んでいます。

その一部門であるロボカップジュニアは19歳までの学生を対象とした教育活動で、日本国内では毎年数千人が参加しています。選手自らがロボットを設計、制作し、協力しながら競技会に挑むことで、技能や知識だけでなく自立心や協働する心も育てられていきます。「勝ち負けよりも、競技で何を学んだかが重要である」という価値観を大切にしながら、子どもたちにロボットの面白さを体感してもらい、未来のロボット博士を育てます。

ジャパンオープンでは3種の競技で全国から集まった選手が競います。

ロボカップジュニアはサッカー、レスキュー、オンステージの3種の競技において全国各地でノード大会(地区大会)が行われています。そして各競技でノード大会、ブロック大会と勝ち抜き、選抜されたチームが日本大会(ジャパンオープン)へ出場します。



サッカーリーグ

1チーム2台ずつのロボットがボールを相手ゴールに入れる事で得点を競う対戦型の競技。チームワークと総合的なロボット技術を必要とし、勝ち負けがハッキリしているのが特徴です。



レスキューリーグ

ロボットが状況判断をして障害を乗り越えるミッションクリア型の競技。ラインを辿る「ライン」、迷路を探索する「メイズ」、仮想空間で競い合う「レスキューシミュレーション*」の3種類があります。

*レスキューシミュレーションの会場は尼崎商工会議所になります。



オンステージリーグ

2分間でロボットがダンスや演技などを披露し、審査するパフォーマンス型の競技。台数やサイズに制限がなく人間との共演も可能なため、創造性に無限の可能性を持っています。

会場



けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)

〒619-0294 関西文化学術研究都市(京都府精華・西木津地区)

■京都から

「京都駅」→近鉄京都線「新祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車(所要約50分)

■大阪から

「京橋駅」→JR学研都市線「祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車(所要約70分)

「本町駅」→中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車(所要約60分)

「大阪難波駅」→近鉄奈良線「生駒駅」→近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車(所要約60分)